

第2回平成29年度入退院支援連携デザインに係る研修会

日時:2017(平成29)年12月23日(土)13:00~17:00

場所:浦添市産業振興センター・結の街 大研修センター
〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4丁目13-1

対象:市町村職員・地域包括支援センター職員・保健所職員等
医療ソーシャルワーカー・社会福祉士等
退院調整看護師・地域医療連携室職員・地域医療連携室の医師等
社会福祉協議会職員等

プログラム:

13:00~13:20 受付、プレアンケート

13:20~13:30 開会挨拶(主催者・沖縄県高齢者福祉介護課)

13:30~15:00 講演

「住民のどう生きるかを支えるエンパワメントについて
~自分自身の<笑顔>と<ちから>を活かす~」

講師:安梅 勅江(あんめ とくえ)氏

筑波大学医学医療系教授

15:00~15:15 質疑応答、休憩

15:15~16:45 ワークショップ

16:45~17:00 ポストアンケート、
閉会挨拶(主催者・沖縄県医療ソーシャルワーカー)

在宅医療・介護連携推進事業のアウトカム指標にあげられている「生活満足度」「従事者満足度」について、取り組みのヒントを得ませんか?

◆エンパワメントとは ◆

「元気になる、元気を引き出す、一緒に元気になる」ということ、「**活き活きとした生きる力(活生力)**”や、“**きずな育む力(絆育力)**”をつむぐことです。誰もが持っている限りない可能性を前提に、その力を最大限に発揮できるような環境を整える方法を科学します。



◆安梅勅江先生プロフィール◆

筑波大学大学院 人間総合学科研究科 教授

専門領域:生涯発達ケア、地域ケア、国際保健マネジメント、
エンパワメント科学

学 位:保健学博士

学会活動:国際保健福祉システム学会 会長、日本保健福祉学会 会長、
日本子ども学会 理事、日本看護科学学会 評議員、
ワシントン大学子どもアセスメント インストラクター

出 演:日本テレビ[世界一受けたい授業] 平成25年5月18日放送

申し込み方法:申込書を記載の上、期限(12月15日)までにFAXにてお申し込み下さい。

※地域包括ケア時代において最も大切にしたいもの、それは“共生”の感覚である。

医療・介護の現場では、生活者である患者・家族の繋がりが変化していく中で、生きる力を発揮できるように支援することが求められる。個別・組織・地域に求められるエンパワメント（湧活）について、自分自身や家族・業務・地域等の実践に活かすためのエンパワメントについて考える。

大浜第一病院 医療福祉課 (又吉 智子) 行 FAX : 098-869-4720 E-mail : t_matayoshi@ns.omotokai.jp

参加申し込み票

第2回 「平成29（2017）年度 入退院支援連携デザインに係る研修

12月23日（土）～住民のどう生きるかを支えるエンパワメントについて～

- 1 市町村名 : _____
- 2 所属機関名 : _____
- 3 連絡先TEL : _____
〃 FAX : _____
- 4 参加者 :

	氏名	職種 / 役職名等
1		
2		
3		
4		
5		

○平成29年12月15日までにFAX（098-869-4720）または、メール（t_matayoshi@ns.omotokai.jp）により提出してください。

○受付は市町村毎に申込み順とさせていただきますので、ご了承ください。
定員超過の場合は、ご連絡いたします。